

事業所職員向

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			広い訓練室があり、十分なスペースは確保しております。子ども達も、のびのびと身体を動かしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	4		4月からオープンしたばかりのため、人員の確保が難しく、只今調整を行っている所です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			おトイレや訓練室の段差もなく、入り口のスペースも広く、合理的配慮を考慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		その都度、問題があった際は、どんな小さな事でもヒヤリハットを徹底し、業務改善に繋げております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			4月オープンの為、初めてのご意見をいただきましたが、職員会議で議題にあげながら支援の改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		今までは、各サークルのブログに掲載しておりましたが、今年からサシノベルテのホームページにて公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	3	今後、検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		研修の機会があれば、代表と相談の上研修に参加し、学ばせていただいております。強度行動障がい支援者研修は、順次参加してもらう予定です。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			現場で関わる支援員から情報共有を行いながら、保護者様とも連携を図り支援にあたっております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			アセスメントツールは、使用し記録残したに上で、共有しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		支援員でリーダーを、日々割り当てながら立案の相談をした上でプログラムを作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			児童発達支援管理責任者が毎回チェックを行いながら、工夫を重ねております。

必要な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			平日は、集団活動をメインに・土祝や長期休は、社会体験を経験させるために、外出活動を多く取り入れております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			お子様の特性を考慮し、個別に対応する等、計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		その日によって、できる時間が設けられる時と、難しい時がありますが、今後きちんと打ち合わせの時間を作っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3		送迎の関係上、集まったの振り返りが難しい状態です。全体LINEで周知したり、次の日の朝に振り返りを共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎日、ケース記録は残しております。問題点は、赤字で残すよう徹底しております。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			初回は3ヶ月、その後は定期的に6ヶ月毎にモニタリングを行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			ガイドラインに沿って、支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者が、資料を作成し、責任を持って参加しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			学校との連携は行っております。下校時刻の変更や行事等の連絡は、ご家族様を通して連絡をいただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		現在、こどもサークル平窪では、医療的ケア児様は受け入れておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			4月にオープンした事業所の為、今後相互理解と共に連携を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		現在、こどもサークル平窪から障害福祉サービス事業所等へ移行するお子様はおりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			研修の機会があった際は、学ばせていただいております。質問等も積極的に行いながら、答えをいただいて支援に繋がっております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2		公園に出かけた際は、一緒に遊ぶ事はありますが、今後機会を作って行けたらと思っております。

	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		協議会の研修案内が来た際は、時間によって参加したいところですが、午後からの案内が多く、参加が難しい所であります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			モニタリングや送迎の際に、申し送りは徹底して行っております。その他、常にメールや電話連絡で共通理解を得ています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	今年の4月以降から、ペアレントカフェから始めて行こうと考えております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約の際には、きちんと説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			連絡帳やメール・電話連絡を通して、児童発達支援管理責任者が責任を持つ助言を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	2	コロナや感染症の件もまだあるため、落ち着きましたら検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			何か苦情があった際は、苦情担当責任者が直ぐに対応し対処して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			定期的に、会報は出しております。職員の退職や異動・新規職員の連絡も、きちんと会報で伝えております。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報には十分気を付けております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			絵カードを使用したり、コミュニケーションボード、筆談コミュニケーション支援も行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		招待するのは難しい状態ですが、地区のゴミ拾い等を活動に取り入れる事で、共生は図っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			対応マニュアルは作成しておりますが、口頭での説明で、保護者様に目を通すまでは行っておりませんでした。今後、周知は徹底して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的に避難訓練は行い、月カレンダーや、ブログにもアップして、情報を公開しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待研修は定期的に行い、ファイリングし、振り返りも行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		1	現在、身体拘束を行うお子様はおりませんが、説明不足ではありました。今後、契約の際は、その点も踏まえて説明し、計画書に記載して参ります。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	現在、食物アレルギーのお子様はおりません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		どんな小さな事でも、ヒヤリと感じたことは、作成しております。回覧にて情報共有を得て、気を付けて参ります。

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		広い訓練室を確保しており、十分に身体を動かすことはできます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		1：1支援で十分に配置数は適切であります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		段差をなくし、トイレのスペースも車椅子の方も使用できるように、十分にスペース等、配慮されています。訓練室も構造化された環境と、クールダウンできるスペースも確保しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		構造化されているため、玩具のスペース・気持ちを落ち着かせる場所・身体を沢山動かす空間と分けて使用できるように工夫されております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	モニタリング作成時に会議を行い、目標設定と振り返りを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		4月に開所し、初めての事業所評価となります。真摯に受け止めて、改善に努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		集計後、サシノベルテのホームページにて公表して参ります。また、反省点を支援会議で情報共有し、今後の対応を見直して参ります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	今後、検討して参ります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		研修の案内が来た際は、代表に相談の上、研修に参加しています。若手の先生にも学んでいただくため、順次参加させております。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		お子様をアセスメントし、保護者様のニーズ受け止めながら、支援計画に反映させております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		それぞれの障がい特性を考慮しながら、アセスメントツールを使用し、計画書に反映させております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		家族支援は特に力を入れて支援にあたっております。地域支援は、これからも学ぶ必要があると考えております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		1：1支援で、支援計画に沿って支援を行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	職員で相談し合い、児童発達支援管理責任者が最終確認を行っております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		週1回のご利用ですが、活動内容も被らないように、公園等考慮しながらお出かけしております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		お子様の障がい特性を考慮しながら、計画書を作成しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	朝、送迎の職員は、参加が難しい場合がありますが、今後は、きちんと情報共有していく所存であります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	送迎の関係上、その日の振り返りが難しい状況です。全体LINEや次の日のもし送り等で振り返りを行ってまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	ケース記録は日々残しております。問題行動があった際は、赤で残していたく等、担当者会議に繋げております。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		初回は3ヶ月、次回からは6ヶ月毎にモニタリングを行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		児童発達支援管理責任者が、資料を作成し、担当者会議に参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		子育てサポートセンターや相談支援専門員と連携を図りながら支援を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		4月から開所したため、これからの情報共有と相互理解になってくると思います。きちんと情報共有をしていく所存であります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		担当者会議等で、資料を作成して提出したり等、情報共有はしっかりと行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	研修等に参加した際は、悩みや疑問点等、積極的に質問し、回答をえ得ております。いただいた助言を支援に繋げてまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
の連携	28	3	2	公園に出かけた際は、交流があるときもごぞいます。今後、活動する機会を作っていきたいと思ひます。
	29	2	3	児童発達支援管理責任者が、代表で会議に参加し、他職員に情報共有しております。
	30	5		連絡帳・メール・電話・送迎時等で伝達し、情報共有を図っております。
	31	1	4	今年の4月以降から、まずはペアレントカフェとして始めて行こうと考えております。
保護者への説明責任等	32	5		契約時にきちんとお話しをさせていただいております。
	33	5		ガイドラインに沿って、支援計画を作成し、きちんと説明をした上で同意を得ております。
	34	5		連絡帳・メール・電話・送迎時等で相談援助を行っております。
	35	1	4	コロナや流行風邪が落ち着いたら、検討して参ります。
	36	5		保護者様から、相談や申し入れがあった際は、早急に対応しております。また、支援に繋がることは他職員にも情報共有させていただいております。
	37	5		会報は、定期的に発行しております。
	38	5		個人情報の取り扱いには、十分に気をつけております。
	39	4	1	コミュニケーションボードや絵カードを使用し視覚的支援を行っております。
	40	2	3	今後、検討して参ります
	非常時等の	41	5	
42		4	1	今後、定期的な訓練を行っていきます。
43		5		契約時に、持病やアレルギー等の確認は行って、通院後は、お薬手帳の提出もお願いしております。
44		4	1	契約時にアレルギー等の確認を行うと共に、食べ物の提供は控えております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		どんな小さな事でもヒヤリと感じたことは記録に残し、情報共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		虐待研修を受けた職員が、内部研修を行い、支援に繋げております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3	現在、身体拘束を行う問題行動のお子様はご利用されていません。今後、対応する際は、きちんと説明をした上で、計画書に記載していきます。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者様等向け

放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21			・遊戯場、トイレ、事務所とスペースが分かれており、広さも十分と思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2	1	・職員数も十分、専門性や子への接し方も良いです。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2		・内部をその観点で見えていないため、不明です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21			・今の出来ていること、出来ていないことを分析して計画が立てられています。 ・丁寧に説明を受けております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21			・1ヶ月のスケジュール、すごくありがたいです。 ・様々なプログラムがあり、とても満足しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	4	3	・知る限りではない？と思います。 ・今後、計画していただけたらと思っています。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1		・契約前後で丁寧に説明頂きました。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1		・他の事業所に通う保護者からも噂で聞くほどです。 ・児童デイ日誌、及びブログにて子供の活動の様子が分かり、会話でも共有頂いています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21			・定期的な面談と日常において助言やF/Bをもらっています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	12	5	・これからお願いします。 ・直接の連携はありません。 ・コロナなどの懸念があり、難しいこともあるかと思っています。 ・これからに期待します。 ・子供が楽しく療育されているので、特に保護者同士の連携は必要ないのかと思う。 ・保護者参観日があれば、繋がりができるかもしれませんね。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	3	1	・定期新聞『でこぼこ』や都度のお知らせ等で対応している。(直接苦情を挙げたことはありません) ・ちょっとしたことで相談すると、迅速な対応(回答・行動)をして下さり、安心しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1		・⑧、⑨の回答と同様の意見です。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21			・安心して見ています。 ・アメンバーブログや2ヶ月に1度の会報にてお知らせ頂いてます。月の行事は別紙で毎月詳細を展開頂いてます。 ・毎日のブログ掲載で様子がわかり安心して見えています。 ・写真が多くて、毎日のブログが楽しみです。顔が隠されてない写真、欲しいことがあります。

	14	個人情報に十分注意しているか	20	1		・はい。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	1	1	・はい。 ・私が認知していないだけかもしれません。 ・コロナ、インフル時は休み始めた時に、通所可能日を教えてもらった。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20		1	・行事予定に組まれているのと、様子はブログなどで閲覧可能なのが良いです。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1		・学校からの顔や言動で楽しみなのがよくわかります。 ・とても楽しみにしています！！ ・毎日楽しく通所してます。予定表があるので、とても助かります。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	1		・非常に満足です。 ・期待以上の支援で満足しています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等向け

児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1			・まだ1年も経っていないため、年数を重ねないとわからない。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	2			1	・文章が難しくよくわからない。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	1			・わからない。
	8 活動プログラム ⁱⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	2	1			・わからない。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3				
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3				
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ^{iv} 等）が行われているか	2		1		・今年から取り入れるとのことで、今後に期待します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	2	・コロナやインフルエンザもあるため、仕方ないのかなと思います。 ・その活動があるのであれば、できる限り参加したい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2			1	・相談したことがない。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3				
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		1		・未就学時の訓練も行っていなければ、今後、お願いしたいです。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2		1		・未就学時の訓練も行っていなければ、今後、お願いしたいです。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	1			・子供の本心がまだわからない。
	23	事業所の支援に満足しているか	2	1			・子供の本心がまだわからない。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
 (保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。